

【公開文書】

臨床研究「機能性納豆 による糖・脂質代謝指標とマイクロバイオームの関連性の検討」について

筑波大学医学医療系橋渡し・臨床研究学研究室では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

2つのヒト介入試験^{*}においてすでに採取している参加者さんの糞便を用い、腸内菌叢や腸内細菌が産生する短鎖脂肪酸等のマクロバイオーム解析を行い、 γ -PGA 高含有納豆の腸内菌叢への影響を解明し、個々人の菌叢のタイプに対応したテラーメイド食品開発につなげる。

*）糞便を用いるヒト介入試験

1) 高 γ -PGA 納豆の単回摂取による食後血糖上昇抑制効果の検討ーランダム化クロスオーバー比較検証試験ー (R01-116) (単回摂取検証試験)

2) 高 γ -PGA 納豆の継続摂取が体格や糖・脂質代謝指標に及ぼす影響に関する探索的検討 (H30-146) (継続摂取試験)

② 研究対象者

上記の2つのヒト介入試験のどちらかに参加し、糞便をご提供いただいた参加者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2023年3月31日まで

④ 研究の方法

糞便内菌叢を解析し、腸内細菌の種類や比率を確認するとともに、乳酸桿菌数を測定する。また、検査食の摂取による糖・脂質代謝指標の変化との関連を検討するために、腸内代謝物のうち胆汁酸と短鎖脂肪酸の量をあわせて測定する。これらの測定は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門に委託する。

また、マイクロバイオーム解析、短鎖脂肪酸・胆汁酸とヒト介入試験における試験食の摂取や糖・脂質代謝マーカーの変動との関連性の検討は、筑波大学で実施する。

⑤ 試料・情報の項目

糞便、検査データ、背景情報（年齢、性別、生活習慣など。）

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

参加者さんの糞便を筑波大学医学医療系から国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門に冷凍輸送便で提供している。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学医学医療系橋渡し・臨床研究学 教授 橋本幸一

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

参加者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 本研究の研究資金

機能性納豆のヒト介入試験は、農林水産省委託プロジェクト「地域の農林水産物・食品の機能性発掘のための研究開発委託事業」の研究費で実施してきました。さらに、本研究は、つくば産学連携強化プロジェクト「筑波大学・産総研・農研機構・茨城大学 合わせ技ファンド」の研究費も使用します。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：橋渡し・臨床研究学 担当 橋本幸一

電話：029-853-7945（対応時間：平日9～17時）

E-mail：koichi.hashimoto(a) md.tsukuba.ac.jp

（E-mail アドレスの(a)は、半角@マークに変換してください。）